



## 梅雨時期の恐怖、忍び寄る虫軍団

梅雨寒の日もありますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。この時期に問題になりやすい虫たちを紹介しします。

湿気もあり暖かくもなりで、虫たちも活発になってきています。特に梅雨に問題になるのが歩行侵入虫です。冬の間積もった落ち葉や石などの下、コンクリートの亀裂などに潜んでいた

虫たちの住処が梅雨の雨によって浸水し、そこを追われ一斉に出てくることが多いです。問題となりやすいのはヤスデ、ゲジ、ダンゴムシ、ワラジムシなどです。特に厄介なのはヤスデで地面を埋め尽くすほど一斉に出てくることがあり、動きもゆっくりなので、一定の場所にとどまっていることや壁を登って屋根近くにいることもあります。

対策としては、住宅や店舗、工場の周りの住処になる部分の整理整頓、不要物は捨て、必要なものは出来るだけ敷地の端に寄せましょう。また、液剤、粉剤、粒剤と状況に応じて薬剤処理、侵入防止として、ドアやシャッターなどの隙間に合わせてパッキンやブラシなどの設置も有効です。弊社では状況に応じて、最適な方法ご提案します。問題になる前にご相談ください。



## あし 肢がたくさんあって長細い虫の仲間たち（多足類）

ヤスデ…ダンゴムシを長くしたようなつやつとした体、腐植食性で、ゆっくり動き、刺激すると渦巻き状に丸まり、臭い体液を出すことも。

ムカデ…毒をもち咬まれると激痛、アナフィラキシーを起こすことも。肉食性で、素早く動き、特に獲物を見つけたとびかかる。

ゲジ…足が長く、非常に素早く、肉食性でゴキブリなどを捕まえてくれることも。人を噛むことはない。



今月の

おすすめ



## ガードピレス微粒剤

特徴：ムカデ・ヤスデ・アリ・ダンゴムシなどの不快害虫用殺虫剤。微粒状で周囲への汚染と舞い上がりによる吸い込みを軽減。即効性、残効性が高く、無臭で使いやすい。

今月の

豆知識

## カエルが鳴くと雨が降る

梅雨時期はどうしてもジメジメして億劫な気持ちになりがちですが、このジメジメが好きな変わり者達があります。五月雨に濡れた紫陽花の葉の上にカタツムリやカエルを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。昔から、「カエルが鳴くと雨が降る」と言われますが本当なのでしょう。この現象は「雨を呼ぶ（知らせる）」＝「レインコール」と言われています。



カエルは両生類で、オタマジャクシの時はエラ呼吸ですが、変態後の成体になってからは肺呼吸に代わります。しかしながら、その肺は単純な袋状の構

造で、すべての呼吸をまかなえず、皮膚呼吸をすることによって足りない分を補っています。なんと呼吸全体量に対して2分の1から3分の1を皮膚呼吸に頼ってるため、乾燥していると皮膚呼吸ができず、窒息してまうことも。湿度が上がると皮膚呼吸の呼吸効率が上がり活動しやすくなるため、湿度の変化を俊敏に察知し、元気にケロケロと鳴くといわれています。他にも、雨が降ると水中に卵を産むことの多いカエル達は、繁殖期と認識し、活発になるともいわれています。

体調を崩しやすい時期ですが、雨音とカエルの鳴き声を聞きながら、のんびり過ごし、ご自愛ください。

